

# はばたけ新成人

## 二十歳の決意

1月4日(水)、日高町中央公民館において、平成29年日高町成人式を執り行いました。式典には、新成人85人のうち75人(男子40人、女子35人)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「みなさんは二十歳を迎えますと、成人としての権利と自由が認められ、それと同時に、自分自身の判断において考え、行動することが要求され、大きな責任や義務も重いものとなってまいります。その自覚をしっかりと持って頑張っていたいただきたいと思えます。大いなる夢と、何事にも果敢に挑戦する勇氣、そして夢の実現に向かって失敗を恐れず、一度しかない人生を心豊かに歩んでいただくことを念願しております。昨年からは若者の声を政治に反映させ、よりよい社会を築いていくために、選挙権の年齢等が満十八歳以上に引き下げられました。皆様の若さあふれる考え方や行動力で、どんどん力を発揮して頂きたい」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して、川井田渉さんに記念品が贈呈されると、三井田夕夏さんが謝辞で「今までは、未成年ということで許されたことも、今日からは、すべて自分自身で責任をとらねばなりません。それが一人前の社会人、大人とすることだと考えております。今まで私達を愛情を込めて育ててくれた家族、また、支えてくださいました地域の皆様方に感謝し、社会のお役に立つような人間になることを誓います」と、新成人としての決意を述べました。

ノンアルコールのシャンパンで乾杯したあと、同館前で川瀬利那さん合図のもと「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばし、記念撮影をして新たな門出を祝いました。



